

# [奨励賞] 救助訓練用特殊人形「オビツボディ タフネス」



代表取締役社長  
尾櫃 充代 氏

株式会社 オビツ製作所

〒125-0042 東京都葛飾区金町 4-14-8

TEL. 03 (3600) 2561

<http://www.obitsu.co.jp/>

オビツ製作所の救助訓練用マネキンは、脱力状態の人間をヘリコプターでつり上げるといった高度な救助訓練にも対応した製品。実際の人体各部の重量バランスを模し、四肢の12個の関節と頸、腹部の14カ所が自由に曲がるため、被災者の複雑な体位を再現することができる。

同社は1966年に創業。葛飾区の地場産業だった玩具業界において、ソフトビニール人形などを生産してきた。同区の玩具産業は大半が海外などに移転したが、同社は日本でのモノづくりにこだわり続けてきた。同社が生産している「オビツボディ」は品質の高い商品を求める国内外のドールやフィギュア愛好家から好評で、受注をのぼしている。

受賞製品である訓練用マネキンは、同社が長年の玩具製造で培った技術を応用した。軟鋼製の芯材と軟質PVC製の外皮の間の軟質発泡ウレタンで構成。芯材と外皮、ウレタンを一体化する製造法は玩具製造のノウハウを生かした。

従来、用いられていた輸入製品は四肢しか稼働せず、外皮そのものに強度を負担させているため硬かった。また、ワイヤーでつなげているため修理が難しく、修理のために海外に送らなければならないなどコスト高なのが難点だった。

人体各部の重量バランスもほぼ再現したほか、ネックカラーを使用した気道確保の訓練も可能。2013年は消防署などを中心に納入しており、今後は警察庁、自衛隊、緊急援助組織など公的セクターを中心に拡販する方針。また介護訓練用の製品も開発していく。

